



2022年1月6日

テュフズードより、Dr Johannes Bussmann 会長就任のお知らせ

国際的な第三者認証機関であるテュフズード(本部:ドイツ・ミュンヘン)は、2023年1月1日付で、Dr Johannes Bussmann (53) がテュフズード AG 取締役会長に就任したことをお知らせします。Dr Johannes Bussmann は、15年以上にわたり当社会長を務めた前取締役会長の Dr Axel Stepken (63) からその役割を受け継いでいます。

テュフズードは、国際的な試験・検査・認証(TIC: Testing, Inspection and Certification)のリーディングカンパニーであり、世界約50カ国で25,000人以上の従業員が、技術、システム、専門知識を継続的に向上させています。モノのインターネット(IoT)やインダストリー4.0、自律走行、再生可能エネルギー、人工知能(AI)などの技術革新の安全性と信頼性を確保するために大きな役割を果たし、新技術の社会的受容と市場投入を大きく促進しています。



新会長の Dr Johannes Bussmann は次の通り述べています。「テュフズードの長年の実績を引き継ぐというチャレンジを非常に楽しみにしています。特に魅力的なのは、テュフズードのテーマや地理的な多様性、そしてスタッフの機能的な能力や技術的専門知識の幅が非常に広いことです」

同氏は、テュフズードが150年以上の歴史の中で、技術や社会のトレンドに対応してきたことに感銘を受けています。確かなブランドDNAを持ち、機敏なアプローチを採用することで、テュフズードは新たな要求に合わせてサービスの幅を広げ続けてきました。さらに同氏は次のように続けます。「もちろん、これはデジタル化や持続可能性といった、現代の中心的なテーマにも当てはまります。さらにテュフズードは、ノーティファイドボディとして、EUをはじめとする世界各国の市場で医療機器の安全性を保証しています」

テュフズード会長就任前、Dr Johannes Bussmann は、ドイツ・ハンブルグに本社を置くルフトハンザ テクニックの CEO を7年間務めました。また2012年9月から2015年4月までは、理事会の人事・エンジン・VIP サービス部門を統括しています。同氏は1998年にABB社(独マンハイム)でプロダクトエンジニアとしてキャリアをスタートさせ、1999年にルフトハンザテクニック社(独ハンブルグ)に入社後は、プロダクトマネジメント・開発部門で開発エンジニアとして勤務。2001年に同社のアジア・オーストラリアのセールスディレクターに就任し、当初はハンブルク本社にて、2003年以降はシンガポール支社にて勤務しました。2005年に同社のマーケティング・セールス担当ヴァイス・プレジデント、2007年にコンポーネントサービス担当シニア・ヴァイス・プレジデント、2011年にエンジンサービス担当シニア・ヴァ

イス・プレジデントを歴任しました。同氏はアーヘン大学(RWTH Aachen)にて航空宇宙工学を専攻し、燃焼工学の分野で工学博士号を取得しています。

Add value. Inspire trust. –新たな価値、さらなる信頼

テュフズードは、安全、安心、かつ持続可能なソリューションを提供し、信頼されるパートナーであり続けています。試験、検査、認証、そして監査を専門とし、人々や環境、財産をテクノロジーのリスクから守るという理念のもと、1866年以來取り組み続けています。全世界に1,000以上の拠点を置き、25,000以上の従業員と共に活動し、リスク管理や市場へのアクセスを円滑にするという価値をお客様やパートナーに提供しています。テクノロジーの進歩によりもたらされる変化を手助けし、自然界・デジタル界においてより安全かつ持続可能な未来を創造するため、テュフズードはこれからも信頼を提供し続けます。 <https://www.tuvsud.com/ja-jp>

Media Relations:

テュフズードジャパン株式会社
マーケティング部

Contact: <https://www.tuvsud.com/ja-jp/contact-us>
お客様製品カテゴリで「採用・総務・マーケティングに関するお問い合わせ」をご選択ください。

160-0023 東京都新宿区西新宿 4-33-4
住友不動産西新宿ビル 4号館 8F